コーディング ライブ授業

後期3週目

[JavaScript]



- 1. 受講生MTG
- 2. はじめに
- 3. 座学
- 4. 実習
- 5. 講師FB
- 6.まとめ
- 7. 受講生MTG

受講生MTG

卒業制作

クライアントワーク

はじめに

役割分担

- プロジェクトリーダー
- トップページと共通CSS
- 下層ページ
- JavaScriptと下層ページ等のヘルプ

先週の課題

お気に入りサービスやツールを見つけて、3分で紹介

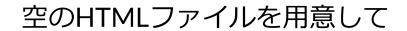
- 何をするものか
- どこが気に入っているか
- 実際にどうやって活用しているか

「おみくじアプリ」

- どんな見た目にするか基本要素は結果の表示と実行ボタン
- どんな内容にするか

座学の時間

JavaScript



変数スコープ

スコープとは参照できる範囲のこと

ところで"変数宣言"何があった?

変数宣言の種類

宣言	内容
何もつけない	グローバル
var	関数 再宣言可
let	ブロック 再宣言不可
const	ブロック 再宣言不可 定数

スコープの種類

```
├─ グローバルスコープ
└─ ローカルスコープ
├─関数スコープ
└─ブロックスコープ
```

実際に体験してみよう

配列

変数の一種 複数の値をまとめて管理、格納できる

衣装ケースをイメージしてみて



- Tシャツ
- ・パンツ
- 靴下

※1つの段にはひとつしかもの(値)が入らないよ

- 配列の書き方 -

配列名 = [要素1, 要素2, 要素3, ...];

wardrobe = ["Tシャツ", "パンツ", "靴下"]

- 参照するには -

全部の値:配列名;

wardrobe

値を一つだけ:配列名[添え字];

wardrobe[0]

※添え字は数字で0から始まります

配列の操作1

記述	内容	例
length	要素の数を 調べる	wardrobe.length
push()	最後に要素 を追加	wardrobe.push("ズボン")
pop()	最後の要素 を削除	wardrobe.pop()
unshift()	最初に要素 を追加	wardrobe.unshift("ハンカ チ")
shift()	最初の要素 を削除	wardrobe.shift()

配列の操作2

記述	内容	例
slice()	コピーするときなど	後述
splice()	任意の位置で追加や削除	後述

```
/**

* slice(コピー開始の位置,コピー終了の位置+1)

*/

//a = wardrobe.slice(1,2);//1番目の要素から1番目の要素までをコピー

a = wardrobe.slice(1,4);//1番目の要素から3番目の要素までをコピー

console.log("sliceの結果:" + a);
```

```
* splice(削除開始の位置,削除する要素数)

*/
wardrobe.splice(0, 1);// 0番目から1つの要素を消す
console.log("spliceの結果:" + wardrobe);

// 2番目から1つも要素を消さないで、その位置の後ろに要素を追加
letterCase.splice(2, 0, "ズボン");
console.log("spliceの結果2:" + wardrobe);
```

API

アプリケーションプログラミングインターフェース

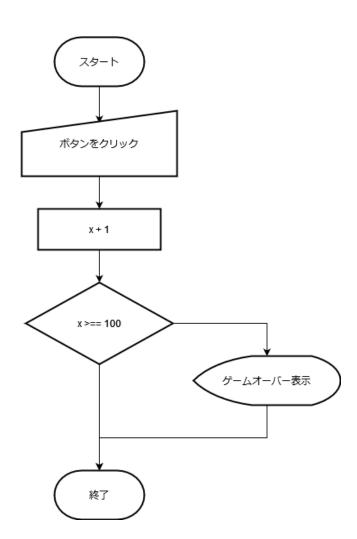
- Web API(ウェブAPI)の一覧リスト https://it-jog.com/wapi/webapis
- 【2022年最新】これは使える!種類別アプリAPI一 覧

https://engineer-style.jp/articles/1675

クジラWeb API https://api.aoikujira.com/

何かを作るときのアドバイス

作るときには設計を



実技

ページのトップに戻るボタン

サンプルファイル example/js.html

以前の前期 example/js-0-c.html

以前の後期 example/js-0-m.html

おみくじの解説

サンプルファイル example/omikuji.html

スクロールの監視

サンプルファイル example/intersection_observer.html

実習

11:20-11:50まで

※休憩等は自由に

来週に向けて

おみくじを来週の授業で完成するところまですすめて おく

予告

次週はHTMLとCSSのお話し 座学多めになる予定です